

長崎バス 「健康経営」宣言について



健康経営とは

長崎自動車株式会社は従業員の健康を会社の財産ととらえ、会社の成長のために、従業員の健康づくりに積極的・戦略的に取り組んでいます。「健康経営」宣言は、長崎県と協会けんぽ長崎支部が健康づくりの推進および健康寿命の伸延の実現を目指し共同で行っている事業で、当社も「健康経営」宣言を行いました。健康経営に取り組むことは、従業員が心身ともに健康で生き生きと働き、当社の経営理念の一つである「働く喜びを実感できる、活力ある企業風土を大切にする」ことの実現にもつながります。従業員が健康でやりがいを持って職務を遂行できる職場を目指し今後も従業員の健康づくりに積極的に取り組みます。



「健康経営推進企業」に認定

長崎県と協会けんぽ長崎支部より令和7年に「健康経営推進企業」の認定を受けました。従業員の健康づくりに積極的に取り組んでいる企業の取り組みを評価するものです。



主な取り組みについて

◎年齢や職種の特性を考慮した定期健康診断の実施

生活習慣病予防健診を活用し、運転士や運行管理者には年2回の定期健康診断を実施しています。

◎生活習慣病、重症化予防の取り組み

定期健診後の有所見者への再検査、精密検査の受診勧奨、保健師による面談を行っています。特定保健指導にも積極的に取り組み、健診後のサポートや生活習慣の改善を図ります。全営業所に社員食堂を設置し、栄養バランスの取れた食事を提供し、従業員同士のコミュニケーション促進の場を提供します。各営業所内に血圧計、整水器を設置、運動ができるトレーニングルームを設けており、健康増進を図ります。



◎がん検診の実施

がんの予防、早期発見のため一定年齢以上の従業員にがん検診（胃がん検診、前立腺がん検診）を実施しています。年齢を引き下げ対象者の拡大を行い、新たに女性のがん検診（乳がん検診、子宮がん検診）を会社の健康診断に取り入れがん検診制度の充実を図ります。腹部エコー検査や PET/CT 検査や人間ドック補助制度も実施しています。



◎SAS（睡眠時無呼吸症候群）検査の実施

全運転士を対象に SAS 検査を5年に1回実施し SAS の早期発見、治療につなげます。

◎脳ドック検査の実施

脳血管疾患の予防、早期発見のため高齢運転士に対し脳ドック検査を実施しています。

◎メンタルヘルス対策の実施

ストレスチェックを実施し、所属や年代ごとの集団分析を通じ職場環境改善を図ります。高ストレス者には医師面談の受診勧奨を行い、メンタル不調の予防に取り組めます。



◎禁煙、受動喫煙防止に向けた取り組み

喫煙室設置による分煙を実施し健康増進法にもとづく受動喫煙防止に取り組めます。

◎インフルエンザ予防接種補助

インフルエンザ予防接種の費用補助を行い、インフルエンザの発症、重症化予防に取り組んでいます。



◎ワークライフバランスの充実

有給休暇の取得促進、育児介護のための勤務制度、男性育休取得促進